

[条例施行規則64条関係 (500t以上1000t未満排出事業者用)]

(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 5月 15日

(宛先) 長野市長

荻原健司 様

提出者

住 所 長野市真島町真島1182番地1

氏 名 株式会社Gサービス

代表取締役 二本松元気

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-285-0768

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。

事業場の名称	株式会社Gサービス
事業場の所在地	長野市真島町真島1182番地1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	07 識別工事業（設備工事業を除く）
②事業の規模	元請完成工事高 58,875千円（前年度実績）
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理工程	別紙2のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項																																															
(管理体制図) 代表取締役 ↓ 現場責任者 ↓ マニフェスト管理責任者																																															
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">【前年度（令和6年度）実績】</th></tr> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th><th>廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)</th><th>紙くず</th><th>繊維くず</th><th>木くず</th><th>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</th><th>がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排 出 量</td><td>6.23t</td><td>3.07t</td><td>3.40t</td><td>144.10t</td><td>58.58t</td><td>525.58t</td><td></td></tr> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th><th>石綿含有産業廃棄物</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr> <tr> <td>排 出 量</td><td>20.50t</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物の適正な分別の徹底及び混合廃棄物の減量化</p>								【前年度（令和6年度）実績】								産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	繊維くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス		排 出 量	6.23t	3.07t	3.40t	144.10t	58.58t	525.58t		産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物							排 出 量	20.50t						
【前年度（令和6年度）実績】																																															
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	繊維くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス																																									
排 出 量	6.23t	3.07t	3.40t	144.10t	58.58t	525.58t																																									
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物																																														
排 出 量	20.50t																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">【目標】</th></tr> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th><th>廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)</th><th>紙くず</th><th>繊維くず</th><th>木くず</th><th>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</th><th>がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排 出 量</td><td>6.00t</td><td>3.00t</td><td>3.00t</td><td>130.00t</td><td>58.00t</td><td>470.00t</td><td></td></tr> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th><th>石綿含有産業廃棄物</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr> <tr> <td>排 出 量</td><td>20.00t</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(今後実施する予定の取組) ・上記に同じ</p>								【目標】								産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	繊維くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス		排 出 量	6.00t	3.00t	3.00t	130.00t	58.00t	470.00t		産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物							排 出 量	20.00t						
【目標】																																															
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	繊維くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリート・瓦礫、廃アス																																									
排 出 量	6.00t	3.00t	3.00t	130.00t	58.00t	470.00t																																									
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物																																														
排 出 量	20.00t																																														
産業廃棄物の分別に関する事項																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">①現状</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物を極力発生させないよう、分別の徹底</td></tr> </tbody> </table>		①現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物を極力発生させないよう、分別の徹底																																											
①現状																																															
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物を極力発生させないよう、分別の徹底																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">②計画</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・これまでの取り組みを継続し、適正な分別を徹底するように協力業者へ教育、指導を行う</td></tr> </tbody> </table>		②計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・これまでの取り組みを継続し、適正な分別を徹底するように協力業者へ教育、指導を行う																																											
②計画																																															
(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・これまでの取り組みを継続し、適正な分別を徹底するように協力業者へ教育、指導を行う																																															

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度(令和 年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	繊維くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリート・陶磁器くず、廃アス
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	繊維くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリート・陶磁器くず、廃アス
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度(令和 年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	繊維くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリート・陶磁器くず、廃アス
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	繊維くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類(コンクリート・陶磁器くず、廃アス
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						

#### 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。  
「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 別紙1

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処理事項		産業廃棄物の種類												合計
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール)	紙くず	繊維くず	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず (石膏ボード)	がれき類 (コンクリート、廃アスファルト)	石綿含有産業廃棄物						
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	6.23t	3.07t	3.40t	144.10t	58.58t	525.58t	20.50t						761.46t
	本年度排出量(計画)	6.00t	3.00t	3.00t	130.00t	58.00t	470.00t	20.00t						690.00t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
全処理委託量	前年度実績	6.23t	3.07t	3.40t	144.10t	58.58t	525.58t	20.50t						761.46t
	本年度計画(目標)	6.00t	3.00t	3.00t	130.00t	58.00t	470.00t	20.00t						690.00t
優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
再生利用業者への処理委託量	前年度実績				144.10t	46.00t	525.58t							715.68t
	本年度計画(目標)				130.00t	46.40t	470.00t							646.40t
認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績													
	本年度計画(目標)													

## 【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。